OB NEWS

JAPAN PROFESSIONAL BASEBALL

社団法人全国野球振興会
（日本プロ野球OBクラブ）

contents

平成20年度事業計画・収支予算について …… 2
アマチュア野球選手・指導者向け講習会について …… 4
事務局より …… 7

©水島 新司
全国野球振興会イメージキャラクター「9ちゃん」

vol.37

社団法人化10周年を迎えるにあたって…

社団法人全国野球振興会は、本年4月23日をもちまして社団法人化10周年を迎えることとなりました。これもひとえに当会の活動にご理解とご支援を下さる皆さまのお陰と心よりお礼申し上げます。1998年に文部省（現文部科学省）の許可を受けて以来、野球の普及・振興のために“草の根活動”を続けてまいりました。「こどもの日全国少年野球教室」や「全国アマチュア野球指導者講習会」を通じて、アマチュア野球界への技術力向上と底辺拡大の土台を築くことが出来たのではないかと確信しております。

今後は一日でも早い“プロアマ問題”の解決に向けアマチュア野球界と手と手を携えてまいりたいと思いますが、そのためには私どもプロ野球OBにとりましても“準備”が必要です。野球の指導に限らずひとりの人間として「教育者」を志すために、自己の技術や知識に満足することなく様々な勉強会を重ねる必要があります。近い将来訪れるであろうプロアマ交流の日のために、当会は指導者養成・認定制度の早期確立や“セカンドキャリアサポート”の制度化等にも積極的に取り組んでまいります。球界の発展のため、当会は今後も全力を尽くしてまいる所存でおりますので、これからも変わらぬご理解とご声援を宜しくお願いいたします。

2008年 新たなるスタート

社団法人化10周年を迎える本年、当会の歩みを振り返りながらも、10年後の野球界へ向けての新たなる草の根活動のスタートと考え、垣根のない野球界を目指し野球の普及振興活動に全力で取り組みます。

平成20年度 事業計画

1. 野球に関する指導者の養成

❶全国アマチュア野球指導者講習会の開催 （収入：4,420千円、支出：6,720千円、収益：▲ 2,300千円）
※笹川スポーツ財団助成事業
全日本アマチュア野球連盟に指導者登録されたプロ野球出身者を派遣し、全国8ブロックにおいて実技講習を行う。
実施会場：全国8会場
実施回数：8回
受講対象：アマチュア野球指導者
受講者数：1会場あたり約100名
派遣講師：1会場あたり4名

❷野球指導者養成・認定制度整備事業の実施 （収入：0千円、支出：1,500千円、収益：▲ 1,500千円）
プロ野球OBが有する高度な技術や考え方を、アマチュアの選手・指導者に伝授する際に求められる指導者としての「知識・能力の習得」及び「理論・表現の統一」をはかるための制度を整備する。
（1）指導者養成制度および、認定制度の整備に取組む
（2）セミナーの開催
実施回数：8回（全国）
受講対象：プロ野球出身者（当会OB会員）
受講者数：1回あたり約50名（のべ約400名）
派遣講師：1回あたり2名

2. 野球に関する技術指導

❶ こどもの日全国少年野球教室の開催 （収入：12,495千円、支出：17,495千円、収益：▲ 5,000千円）
5月5日のこどもの日にプロ野球出身者を指導者として47都道府県48会場に約370人を派遣し、約1万3,000人のこどもたちを指導。将来を担うこどもたちに野球の魅力や楽しさを伝えるとともに、心のふれあいができる場を提供することにより、底辺拡大、スポーツの普及・振興及び青少年の健全育成に寄与することを目的とする。
開催日：2008年5月5日（月・祝）
会 場：47都道府県48会場（東京都のみ2会場）
参加者数：約13,000人
派遣講師数：約370人

❷アマチュア野球選手・指導者強化育成事業（収入：2,000千円、支出：2,000千円、収益：0千円）
文部科学省の委託事業として全国7会場にて当会会員により「実技指導」「講演会」を実施する。アマチュア選手のさらなる技術の向上には、高い専門性を持った指導者が指導に当たることが望まれる。そこで、トップレベルの技術と経験を有するプロ野球OBが、一定レベル以上の技術を備えたアマチュア選手とその指導者に対し、高度な技術を還元することで、アマチュア野球の技術力向上を促進する。
開催日：2007年4月～2008年3月
会場：全国7会場

❸各種少年野球教室の開催 （収入：6,746千円、支出5,357千円、収益：1,389千円）
行政、団体、企業等からの依頼により、各種野球教室や指導者講習会、審判講習会等の講師としてOB会員を派遣。
（1）一般野球教室 （委託元：行政、団体、企業等）
（2）スポーツ選手ふれあい指導事業 （委託元：財団法人日本体育協会）

3. プロ・アマ交流に資する各種行事の開催

❶（1）全国アマチュア野球指導者講習会 （収入：4,420千円、支出：6,720千円、収益：▲ 2,300千円）
※1－❶参照

4. 全日本野球会議その他野球に関する団体との連携協力

全日本野球会議内の指導者講習会等の講師としてOB会員を派遣

❶野球指導者講習会（BCC）（収入:2,980千円、支出:3,380千円、収益：▲ 400千円）
主催：全日本野球会議
実施回数：3回
派遣講師：1会場あたり4～8名

5. 日本高等学校野球連盟関連事業の開催

各都道府県高等学校野球連盟が主催する現役高校野球部員に対する技術指導への OB会員派遣

❶元プロ野球選手技術指導講習会（収入：3,973千円、支出：5,973千円、収益：▲ 2,000千円）
主催：各都道府県高等学校野球連盟
実施回数：10都道府県
派遣講師：1会場あたり4名

6. 会報その他出版物の発行

❶会報誌『OB NEWS』の発行（支出：2,930千円）
※管理費の通信費と印刷費として計上

❷ホームページの管理・運営（支出：1,452千円）
※管理費の広告宣伝費として計上

7. その他目的達成のために必要な事業

❶講演会への講師派遣（収入：8,400千円、支出：7,538千円、収益：862千円）
行政、団体、企業等からの依頼により、講演会の講師としてプロ野球出身者（OB会員）を派遣。
主催：行政、団体、企業等
内容：講師により異なる
派遣人数：15名

❷肖像権使用事業の運営（収入：15,750千円、支出：200千円、収益：15,550千円）
テレビゲームソフト、メモラビリア、雑誌、新聞広告等への当会および当会OB会員の肖像権を貸与。

❸野球振興普及事業（収入：18,647千円、支出：19,813千円、収益：▲ 1,166千円）
賛助会員、関係者、野球ファンとの交流の機会を提供し、野球の普及振興に努める。

❹プロ野球マスターズリーグへの運営協力（収入：5,000千円、支出：400千円、収益：4,600千円）
プロ野球マスターズリーグの監督・コーチ・選手・スタッフ等として、プロ野球出身者（当会OB会員）を派遣し、運営に協力する。

❺スポーツフェアへの運営協力（収入：85,328千円、支出：53,328千円、収益：32,000千円）
財団法人自治総合センターからの依頼により、プロ野球出身者（当会OB会員）および事務局職員を派遣し、運営に協力する。
主催：財団法人自治総合センター、各地方自治体
協力：日本プロ野球名球会、社団法人全国野球振興会
内容：「指導者クリニック」「少年少女野球教室」「ドリームゲーム」
実施会場：全国15会場
実施回数：15回
派遣人数：1会場あたり16名

❻広告宣伝（収入:5,250千円、支出:250千円、収益:5,000千円）
当会活動への支援企業（オフィシャルスポンサー）からの年間協賛金
株式会社オニザキコーポレーション

❼物品販売（収入：639千円、支出：0千円、収益：639千円）
公認グラブおよびオリジナルグッズの販売

❽調査研究
社団法人日本野球機構、社団法人日本プロ野球選手会と共同で、キャリアサポート関連施策を展開する。

❾全国草野球トーナメント （収入：124,150千円、支出：114,150千円、収益：10,000千円）
全国の軟式野球愛好家（社会人）を対象に、草野球の全国大会を開催する。47都道府県において県大会を実施、全国8～10地区にて地区代表を決定し、8～10チームによる全国大会を開催。

社団法人全国野球振興会 2008年度の主な活動予定

※事業名の後ろに記載されている番号は、上記「平成20年度事業計画」の掲載番号と同一です。

※その他の活動については当会HPおよび会報誌等にてご紹介いたします。

月	予 定
1月	全国アマチュア野球指導者講習会（1／27～3／16） 1-❶
	アマチュア野球選手・指導者強化育成事業（1／26～3／20） 2-❷
2月	第2回大和ハウスチャリティーゴルフ大会 （2／22） 7-❸
3月	第1回総会（3／11）
	賛助会員・OB会員特典 東京ドーム巨人戦チケットの販売スタート
	会報誌「OB NEWS」Vol.37発行（3／31） 6-❶
4月	設立記念日 祝 社団法人化10周年！（4／23）
5月	第14回CALPISこどもの日全国少年野球教室（5／5） 2-❶
	スポーツフェア ドリームベースボールスタート（5／18～11／23） 7-❺

月	予 定
6月	会報誌「OB NEWS」Vol.38発行（6／30予定） 6-❶
	OB会員対象「技術セミナー」開催（予定） 1-❷-(2)
7月	関西ファンの集い（7／30） 7-❸
	賛助会員特典 オールスターゲーム入場券特別販売（中旬予定）
9月	会報誌「OB NEWS」Vol.39発行（9／30予定） 6-❶
10月	賛助会員特典 日本シリーズ入場券特別販売（下旬予定）
11月	プロ野球マスターズリーグ'08～'09シーズン開幕（上旬予定） 7-❹
12月	第2回総会（12／10）
	平成20年度 感謝の集い（12／10） 7-❸
	会報誌「OB NEWS」Vol.40発行（12／26予定） 6-❶

平成20年度 収支予算書総括表

平成20年1月1日～平成20年12月31日まで

	項 目	合 計	一般会計	特別会計	
				収益事業会計	周年事業会計
収入の部	1. 基本財産運用収入	7,000	7,000		
	基本財産利息	7,000	7,000		
	2. 会費収入	18,500,000	18,500,000		
	OB会員会費	11,000,000	11,000,000		
	賛助会員会費	7,500,000	7,500,000		
	3. 事業収入	42,515,520	42,515,520		
	こどもの日全国少年野球教室	12,495,000	12,495,000		
	全国アマチュア野球指導者講習会	4,420,000	4,420,000		
	全日本野球会議	2,980,000	2,980,000		
	野球指導者養成・認定事業	0	0		
	日本高等学校野球連盟関連事業	3,973,320	3,973,320		
	青少年健全育成事業	0	0		
	野球振興普及事業	18,647,200	18,647,200		
	調査研究事業	0	0		
	アマチュア強化・育成事業	0	0		
	周年事業	0			0
	4. 収益事業収入	251,263,895		251,263,895	
	各種少年野球教室	6,746,000		6,746,000	
	講演会	8,400,000		8,400,000	
	OBオールスターゲーム	0		0	
	肖像権使用事業	15,750,000		15,750,000	
	物品販売	639,000		639,000	
	スポーツフェア	85,328,895		85,328,895	
	広告宣伝	5,250,000		5,250,000	
	マスターズリーグ	5,000,000		5,000,000	
	全国草野球トーナメント	124,150,000		124,150,000	
	5. 寄付金収入	10,500,000	10,500,000		
	6. 補助金	12,800,000	12,800,000		
	文部科学省	2,000,000	2,000,000		
	日本野球機構	10,000,000	10,000,000		
	笹川スポーツ財団	800,000	800,000		
	7. 雑収入	1,109,745	1,109,745		
	当期収入合計 (A)	336,696,160	85,432,265	251,263,895	0
	前期繰越収支差額	28,468,023	13,211,071	15,256,952	
	収入合計 (B)	365,164,183	98,643,336	266,520,847	0

	項 目	合 計	一般会計	特別会計	
				収益事業会計	周年事業会計
支出の部	1. 事業費	56,881,056	56,881,056		
	こどもの日全国少年野球教室	17,495,000	17,495,000		
	全国アマチュア野球指導者講習会	6,720,000	6,720,000		
	全日本野球会議	3,380,000	3,380,000		
	アマチュア強化・育成事業	2,000,000	2,000,000		
	日本高等学校野球連盟関連事業	5,973,320	5,973,320		
	青少年健全育成事業	0	0		
	野球振興普及事業	19,812,736	19,812,736		
	野球指導者養成・認定事業	1,500,000	1,500,000		
	調査研究事業	0	0		
	周年事業	0			0
	2. 収益事業費	181,224,410		181,224,410	
	各種少年野球教室	5,357,190		5,357,190	
	講演会	7,538,325		7,538,325	
	OBオールスターゲーム	0		0	
	肖像権使用事業	200,000		200,000	
	物品販売	0		0	
	スポーツフェア	53,328,895		53,328,895	
	広告宣伝	250,000		250,000	
	マスターズリーグ	400,000		400,000	
	全国草野球トーナメント	114,150,000		114,150,000	
	3. 管理費	87,700,641	87,700,641		
	人件費	42,865,432	42,865,432		
	宿泊・交通費	8,823,321	8,823,321		
	消耗・備品費	2,100,000	2,100,000		
	通信運搬費	3,797,000	3,797,000		
	保険料	840,000	840,000		
	支払手数料	1,383,000	1,383,000		
	印刷製本費	4,998,800	4,998,800		
	租税公課	2,300,000	2,300,000		
	アルバイト賃金	600,000	600,000		
	会議費	1,967,000	1,967,000		
	広告宣伝費	3,548,000	3,548,000		
	接待交際費	1,440,000	1,440,000		
	報酬手当	2,798,500	2,798,500		
	賃借料	1,022,600	1,022,600		
	新聞図書費	162,000	162,000		
	地代家賃	7,495,488	7,495,488		
	水道光熱費	624,000	624,000		
	諸会費	865,500	865,500		
	雑費	70,000	70,000		
	4. 法人税等	6,000,000		6,000,000	
	5. 予備費	4,890,053	4,890,053		
	当期支出合計 (C)	336,696,160	149,471,750	187,224,410	0
	当期収支差額 (A)-(C)	0	▲ 64,039,485	64,039,485	0
	次期繰越収支差額 (B)-(C)	28,468,023	▲ 50,828,414	79,296,437	0

1.借入金限度額 0円　　2.債務負担額 0円

第14回CALPISこどもの日全国少年野球教室

今年も5/5に全国47都道府県48会場で、プロ野球OBとこどもたちの笑顔が輝きます。3月現在予定しております開催地などをお知らせします。

都道府県	開 催 地		開催時間
北海道	標津郡標津町	標津町営野球場	8：30～11：30
青森県	西津軽郡鰺ヶ沢町	大高山球場	13：30～16：30
岩手県	一関市	千厩野球場	14：00～17：00
秋田県	南秋田郡八郎潟町	八郎潟町中羽立公園弁天球場	9：00～12：00
宮城県	宮城郡松島町	松島運動公園野球場	13：00～16：00
山形県	新庄市	新庄市民球場	14：00～17：00
福島県	須賀川市	ブルースタジアム	12：00～15：00
茨城県	土浦市	新治運動公園	13：00～16：00
栃木県			
群馬県	みどり市	大間々グラウンド	13：30～16：30
埼玉県	春日部市	庄和野球場	13：30～16：30
東京都	【東部】江東区		
	【西部】大田区	大田スタジアム	13：00～16：00
千葉県	市原市	臨海球場	
神奈川県	茅ヶ崎市	茅ヶ崎公園野球場	13：00～16：00
山梨県	山梨市	山梨市民スポーツ広場	9：00～12：00
長野県	上伊那郡辰野町	荒神山野球場	13：00～16：00
新潟県	新潟市	新潟市営黒崎地区野球場	13：00～16：00
静岡県	静岡市	静岡市営西ヶ谷野球場	13：00～16：00
愛知県	名古屋市	瑞穂公園野球場	9：30～12：30
岐阜県	大垣市	大垣市浅中公園グラウンド	13：00～16：00
三重県	三重郡菰野町	大羽根野球場	9：00～12：00
富山県	砺波市	チューリップスタジアム	9：30～12：30
石川県	加賀市	加賀市中央公園野球場	12：00～15：00

都道府県	開 催 地		開催時間
福井県	南条郡南越前町	南条グラウンド	13：00～15：00
滋賀県	蒲生郡竜王町	竜王町総合運動公園自由広場	13：00～16：00
京都府	相楽郡精華町	精華町立東光小学校グラウンド	13：00～16：00
奈良県	磯城郡三宅町	三宅健民運動場	9：00～13：00
和歌山県	海南市	海南市民運動場	9：00～12：00
大阪府	摂津市	摂津市スポーツ広場	13：00～16：00
兵庫県	明石市	明石海浜公園臨時野球場ー西	9：30～12：30
鳥取県	鳥取市	鳥取市営美保球場	13：00～16：00
島根県	出雲市		
岡山県	倉敷市	水島緑地福田公園野球場	10：00～14：00
広島県	東広島市	東広島運動公園野球場	13：00～16：00
山口県	阿武郡阿東町	県立徳佐高校野球場・グラウンド	13：00～16：00
香川県	仲多度郡まんのう町	サン・スポーツランド仲南	13：00～16：00
徳島県	鳴門市	オロナミンC球場（県営鳴門球場）	12：30～15：30
高知県	高知市	土佐高校向陽グラウンド	12：00～15：00
愛媛県	東温市	東温市総合公園多目的グラウンド	13：00～16：00
福岡県	鞍手郡鞍手町	鞍手町民球場	13：00～16：00
佐賀県	神埼郡吉野ヶ里町	吉野ヶ里町三田川中央公園野球場	9：00～12：00
長崎県	長崎市	県営野球場ビッグNスタジアム	
熊本県	熊本市良町	熊本市立浜線健康パークグラウンド	10：00～13：00
大分県	豊後高田市	豊後高田市真玉市民グラウンド	13：00～16：00
宮崎県	小林市	小林総合運動公園市営野球場	12：00～15：00
鹿児島県	鹿児島市	県立鴨池球場	9：00～13：00
沖縄県	宮古島市	宮古島市民球場	10：00～13：00

※空欄は現在調整中です。開催時間等は変更になる場合がございます。詳細は当会ホームページおよび新聞各紙等にて発表予定です。
※参加児童の公募は行っておりません。スタンド等の見学は自由です。お気軽にご来場ください。

平成20年度スポーツフェア ドリームベースボール

今年で200試合を迎える20年度の開催地をお知らせいたします。大人から子供まで楽しめる、野球漬けの一日を一緒に過ごしましょう！

開 催 地		開 催 日	会 場 名
都道府県	市町村		
北海道	新十津川町	5月17日(土)～18日(日)	ふるさと公園ピンネスタジアム
秋田県	能代市	5月24日(土)～25日(日)	能代球場
長野県	伊那市	7月19日(土)～20日(日)	
青森県	五所川原市	7月26日(土)～27日(日)	つがる克雪ドーム
大分県	佐伯市	8月2日(土)～3日(日)	佐伯球場
石川県	小松市	8月16日(土)～17日(日)	小松運動公園末広野球場
岩手県	一関市	8月30日(土)～31日(日)	一関市運動公園野球場

開 催 地		開 催 日	会 場 名
都道府県	市町村		
福島県	泉崎村	9月6日(土)～7日(日)	さつき公園野球場
茨城県	神栖市	9月20日(土)～21日(日)	神栖海浜球場
静岡県	磐田市	9月27日(土)～28日(日)	磐田城山球場
山形県	天童市	10月4日(土)～5日(日)	天童市スポーツセンター野球場
青森県	三沢市	10月18日(土)～19日(日)	三沢市民運動広場野球場
和歌山県	有田市	11月15日(土)～16日(日)	有田市民球場
広島県	三原市	11月22日(土)～23日(日)	三原市民球場

※空欄は現在調整中です。　※観戦をご希望の方は、各開催地にお問い合わせください。開催地および近隣の都道府県にお住まいの賛助・OB会員の皆さまには、事前にご案内いたします。

アマチュア野球との対話

アマチュア野球選手・指導者向け講習会を開催しました

アマチュア野球との交流の場である「全国アマチュア野球指導者講習会」、「アマチュア野球選手・指導者強化育成事業」「元プロ野球選手技術指導講習会」「全日本野球会議　技術指導講習会」が、昨年から今年の3月にかけて開催されました。

全日本アマチュア野球連盟に所属する各連盟や団体等のご協力により、野球界のさらなる飛躍へと繋がる講習となりました。

今回は、2月11日に新潟県新潟市黒崎地区総合体育館で行われた「全国アマチュア野球指導者講習会」にご協力いただきましたNPO法人新潟野球人（以下、新潟野球人）の中野久理事に、プロアマ問題について、また新潟の野球界についてのお話を伺いました。新潟野球人は講習会前日に、新潟県ご出身で漫画家の水島新司先生（当会理事）と、講師（5名）を招きパネルディスカッションを開催するなど、野球を通じた地域活性化にご尽力なさっています。

当会は現場の皆さまの声を伺い、今後さらに充実した、アマチュア野球との対話を実現させていきます。

「全日本野球会議　技術指導講習会」にて指導する池谷公二郎講師（元広島）

新潟野球を盛り上げる　～NPO法人新潟野球人　理事 中野久氏に聞く～

「新潟は陸の孤島だった」と昔を振り返る中野氏。プロとの交流がないままに、野球で遠い存在となった新潟を盛り上げるべくNPO法人新潟野球人は活動している。

そこに、今年で2年連続開催となった「全国アマチュア野球指導者講習会」（以下BCS）が希望をもたらした。実際に現場に立ち会った中野氏が見たものは、野球の頂点を経験したプロ野球OBの高度でハートフルな技術指導と、それを受講する指導者の皆さんの真剣な表情だった。地元新潟にプロ野球OBが野球目的で来ていることは大きな変化であった。

プロ野球OBとアマチュア野球とが関わりを持つ時、必ず付いて回るのが、「プロアマ問題」だ。BCSの開催、更にその前日にはパネルディスカッションを開催するなど、新潟のアマチュア野球界の変革に尽力される中野氏は、「プロアマ問題」をどのように感じておられるのだろうか。実際に今回のBCS開催においても高野連からまさに「プロアマ問題」（BCSでは日本高等学校野球連盟に所属する野球部の指導者の参加も認められています）を挙げられ、高野連の指導者がプロ野球OBの講習を受けることに苦言を呈されたそうだ。中野氏は、地方都市は「プロアマ問題」に特に敏感であると思い知らされると同時に、なおさらプロとの交流の必要性を感じた。そこで「参加する全組織が野球の普及、そして振興ただそれだけを実直に求め、目的とすること」という考えを全面に押し出し、当会と共に説得にあたった。結果、プロアマの垣根を越えた講習会の実現へとつながった。野球の普及、振興は野球を愛する全ての人が持ち得る心だ。この心は当会の基本理念であり、発足理由でもある。新潟BCSを盛り上げる一つの鍵となったこの心を当会も今一度強く誓うこととなった。

来年に県立球場が完成予定の新潟野球の未来は賑やかだ。中野氏は大きな変化のある年だからこそ、伝統ある各野球連盟、野球組織それぞれが、地盤である各取り組みの充実を図ることが大切だと考えている。基本に返り、各連盟、組織が野球振興に邁進することで新潟県全体の盛り上がりは県立球場完成を機に飛躍的に伸びることだろう。新潟野球の構想は大きく広がりを見せ、県民球場でのセ・パ公式戦「新潟シリーズ」の開催誘致や、球場の有効活用にも積極的だ。中野氏は県立球場内に水島新司展示館、グッズショップ、BCリーグブース、野球博物館、新潟野球人ブースなどの設置を構想中で、目指すのは野球のない日でも賑わいをみせる球場だ。

陸の孤島だった新潟は今、新たな野球大陸へと進化をとげている。

元プロ野球選手技術指導講習会　講師アンケート

3年目の開催となった元プロ野球選手技術指導講習会が7県10会場で行われました。今回は、直接指導にあたったOB講師に実施したアンケートをご紹介します。質疑応答の時間の充実を求めるOBが多く、より深く指導に当たりたいというOBの気持ちが感じ取れる結果となりました。

●個人的に質問を受けたひとが2～3人いたが、上手になりたいというひたむきさを感じた。
●我々の帰宅時間は遅くなっても質疑応答の時間をとったほうが良いと思う。
●聞く耳はしっかりと持って聞いてくれましたが、やはり自己流でプレーをしている感が強かった。
●体力、技術的には各高校から選抜された選手たちだったのでレベルは高い方だった。しかし基本がしっかり身についていない選手何人かいた。
●若い人と一緒に動き楽しかった。
●今まで行った指導者内容にプラスしたパフォーマンステクニック指導を行った。指導者が熱心にビデオ、メモをとっていて効果のある技術指導になった。

村上眞一講師（元オリックス）による技術指導（兵庫県会場）

全国アマチュア野球指導者講習会　参加者アンケート

今年も全国8会場で開催されました全国アマチュア野球指導者講習会は、門戸の広い講習会です。今回は整形外科医の方の受講もあり、野球指導への関心の高さがうかがえました。

当日、受講者の皆様のご協力を得てアンケートを実施しましたのでご報告します。全国で多く聞かれた意見は、「一年の講習回数を増やしてほしい」、「定期的に講習会に参加したい」というものでした。受講者の皆様の声に応え、さらに充実した講習会となるよう取り組んでまいります。

※アンケート回答者プロフィール（指導先・軟式or硬式・指導年数）

広野功講師（元中日）による技術指導（北信越会場）

▌希望指導内容

●内外、走塁、ピックオフ等の連携プレーの練習方法（小学）
●個人、チームでの練習メニュー（中学・4）
●イメージトレーニング（中学・硬・6）
●メンタルケア（中学・硬・10）
●怪我をしたときのトレーニング方法（高校）
●栄養指導（中学・軟・2）
●発展途中の選手特有の肉体面、精神面の指導ポイント（中学）
●準備体操（整形外科医）

▌ご提案

●軟式のなかでも小学生と中学生ではレベルがちがうので分けて欲しい（中学・1）
●ディスカッションだけではなく、指導者全員が体験する時間を設けて欲しい（中学・硬・6）
●プロ野球のコーチ経験のある方を派遣して欲しい（高校・硬）

▌ご感想

●高校で通用する選手、大学でやれる選手を育てていきたいと考えられるようになりました（高校・硬）
●今日聞いたことを周りの指導者にも話していきたい（中学・軟・6）
●過去5回受講させてもらっていますが、今回新しい指導方法に触れることができました（小学・軟・10）
●基本の大切さを改めて教えていただきました（高校）
●時間をオーバーしてのご指導、熱意が伝わってきました（中学・軟）
●参考書を読みながら子どもたちに教えていくにはなかなか難しい事が多かったので、プロ野球経験のある方の理論と教え方を聞く機会に参加でき、これからの指導に大変参考になりました（小学・軟・13）

アマチュア野球対象講習会　講師一覧

講師としてご協力いただきました方々のお名前をご紹介します。

有田修三
池谷公二郎
石井雅博
江藤省三
大川　章
小川　亨
長内　孝
香川正人
河村健一郎
小林　宏
駒崎幸一
駒田徳広
佐藤　洋
庄司智久
鈴木伸良
高橋一三
高橋善正
高橋直樹
種茂雅之
田野倉利男
辻　恭彦
土屋弘光
中村　稔
野田浩司
広野　功
星野秀孝
堀場秀孝
前田益穂
前原博之
松岡　弘
村上雅則
本西厚博
屋鋪　要
山本和行
山本一義
吉永幸一郎
若菜嘉晴
若生智男
和田　徹

※50音順

事務局より

いつも『OB NEWS』をご愛読いただき、ありがとうございます。
社団法人化10周年を目前にし、各事業の充実、そして野球振興のための新しい試みを多く提案・実行できるよう事務局一同情熱を傾けてまいります。2008年もご支援・ご協力をよろしくお願いします！

セカンドキャリアサポート制度の現状

2003年の「宣言」にともない、当会ではプロ野球引退後のキャリア・デザインを支援する様々なプロジェクトに取り組んでまいりました。しくみづくりのためのアンケート調査、各種セミナーの開催、（財）日本プロスポーツ協会の「研修プログラム」の受講、（財）日本体育協会公認スポーツリーダー検定の受験、そして2004年からスタートしたキャリアサポートマガジン（2007年より「New Ball」）の発行等です。また、2006年からは早稲田大学人間科学部通信教育課程（スクール）の特別推薦枠をいただくことができ、会員の皆様への支援のひとつとして可能性を増やすことができました。残念ながら2007年は受験者がおりませんでしたが、会員の皆様からは受験を検討したいという前向きな問い合わせが多く、ニーズの高さが伺えました。この特別推薦枠は日本野球機構に所属する現役のプロ野球選手も対象としており、2007年は現役選手からも初めての合格者が現れるなど、セカンドキャリアを念頭においた活動を選手時代から始めることの大切さがプロ野球OBのみならず現役選手にも浸透しつつあるようです。なお、この特別推薦枠は2008年も引き続いての確保が決定しました。詳細は10月にご案内予定です。

2007年春に日本野球機構に「セカンドキャリアサポート」が開設されたこともあり、現在はその役割を一度日本野球機構にお預けし、当会では限られた形でのサポートとなっているのが現状です。しかし将来的には当会と日本野球機構および日本プロ野球選手会が共同してサポート活動に取り組めるような体制となることを願って、当会は今後もサポート活動に取り組んでまいります。

平成19年度 第2回総会・感謝の集い 開催報告

当会では、平成19年12月13日に平成19年度第2回総会を開催し、右記のとおり議決されましたのでお知らせいたします。なお、詳細につきましては、本誌P2～3をご参照下さい。

また、総会後に平成19年度感謝の集いも開催され、壇上で水島新司先生による当会イメージキャラクター「9ちゃん」が披露されるなど盛り上がりました。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。なお、今年度は12月10日（水）に開催いたします。詳細は決定次第お知らせいたします。

日　時：平成19年12月13日（木）
会　場：グランドプリンスホテル新高輪（東京都港区高輪3-13-1）
出席社員：923名
議決事項：（第1号議案）平成20年度事業計画及び収支予算について全会一致で了承

「9ちゃん」（左）と「あぶさん」を披露する水島先生

第2回 大和ハウス チャリティー大会　～無くそう小児外傷、育てよう子どもの未来～

小児救急医療へのチャリティーを目的とした第2回大和ハウスチャリティーゴルフ大会が2月22日、千葉県の袖ヶ浦カントリークラブで開かれ、当会会員24名と社団法人日本女子プロゴルフ協会会員22名、そして大和ハウス工業株式会社様のご関係者を合わせ、約200名が参加しました。

今回集められた寄付金は、小児期の死因第1位を占める小児外傷への医療充実を願い、有限責任中間法人日本救急医学会及び日本医科大学付属病院高度救急救命センターに寄付されます。

また、大和ハウス工業株式会社様より当会に少年野球の普及振興に対し寄付金と自動体外式除細動器（AED）1台をご寄贈いただきました。

堀福次郎様（大和ハウス工業株式会社　東京支社上席執行役員）より寄付金の贈呈

「第2回マルハンドリームカップ全国草野球トーナメント」開幕準備中！　～草野球の2代目日本一を目指せ！～

昨年熱戦を繰り広げた、「マルハンドリームカップ全国草野球トーナメント」の第2回大会は現在開幕に向け準備中です。昨年ご参加いただいた824チームはもちろん、ニューカマーの活躍も見逃せません。今年もどうぞご期待下さい！

詳細は決まり次第、大会公式ホームページにてお伝えいたします。

URL www.dreamcup.jp

「メモラビリア事業」に新商品が加わりました　～プロ野球OB直筆サイン入りボール～baseball legend～

メモラビリア商品に新たに右記5名のサインボールが加わりました。当会では、日本プロ野球界で活躍されて来られた選手の方々の栄光を永久に称え、その実績を後世に残して行くことで、プロ野球ファンをはじめ多くの人たちに野球の歴史や伝統、そして野球の素晴らしさを継承して行くことを目的にした「メモラビリア事業」を推進しています。本事業での売り上げは当会の野球振興活動に役立てられます。

・中西 太氏（西鉄）
・張本 勲氏（巨人）
・田淵 幸一氏（西武）
・西本 聖氏（巨人）
・牛島 和彦氏（ロッテ）

サインボールを持っての一枚。中西太氏（元西鉄）

2008年 1月～3月活動報告

敬称略

■ 各種講演会・野球教室

	日　程	名　称	会　場	講　師
1月	23日（水）	たましん社会情勢研究会（講演会）	玉島信用金庫本店講堂（岡山県倉敷市）	山田久志
3月	15日（土）	与板保育園創立60周年記念式典（野球教室）	与板保育園（新潟県長岡市）	今井雄太郎、内藤尚行

■ その他の活動

	日　程	名　称	会　場	講　師
1月	25日（金）	三鷹市立第五小学校総合学習　「職業調べ」	本部事務所	大里晴信
	15日（火）	アマチュア野球指導者向け「指導者プログラムの基礎データ収集」	大阪大学（大阪府豊中市）	佐野慈紀
	16日（水）	アマチュア野球指導者向け「指導者プログラムの基礎データ収集」	大阪大学（大阪府豊中市）	田村　勤
	28日（月）	アマチュア野球指導者向け「指導者プログラムの基礎データ収集」	兵庫県西宮市内	中田良弘
2月	3日（日）	アマチュア野球指導者向け「指導者プログラムの基礎データ収集」	大阪大学（大阪府豊中市）	村田辰美
	26日（火）	大阪府松原市立河合小学校総合学習「夢プラン」質問状への返信	大阪府松原市立河合小学校（大阪府松原市）	山本文男
3月	18日（火）	草加市立草加中学校総合学習　「未来発見学習」	本部事務所	後藤孝志

■ 各種会議

	日　程	名　称	会　場	講　師
1月	21日（月）	指導力向上委員会	本部事務所	江藤省三、堀場秀孝、松岡　弘、辻　恭彦、小川　亨
	31日（木）	第1回近畿ブロック会議	ホテル一栄（大阪府大阪市）	岡本伊三美、谷村友一、黒田　勉、伊香輝男、小川亨、福間納、一枝修平、芝池博明、和田　徹、本間　勝
2月	25日（月）	運営部会	ホテルルポール麹町（東京都千代田区）	佐々木信也、淡河　弘、坪井新三郎、岡田忠雄、矢作公一、山本一義、中村　稔、前田益穂、高橋直樹
	25日（月）	指導向上委員会	本部事務所	佐々木信也、森　徹、江藤省三、辻　恭彦、斎田忠利、堀部秀孝、小川　亨
	26日（火）	第2回近畿ブロック会議	ホテル一栄（大阪府大阪市）	谷村友一、芝池博明、伊香輝男、山本重政、小川　亨、大門和彦、岡本伊三美、本間　勝、黒田　勉 和田　徹、一枝修平、福間　納、木村竹志
	27日（水）、29日（金）	会計・業務監査	本部事務所	道法孝典、夏目　進、吉田正史、坂本　守
3月	3日（月）	常務理事会	ホテルルポール麹町（東京都千代田区）	大沢啓二、竹中萬治郎、森　徹、佐々木信也、清覚秀雄、岡本伊三美
	11日（火）	理事会・総会	ホテルルポール麹町（東京都千代田区）	大沢啓二ほか当会役員・会員
	21日（金）	底辺拡大委員会	本部事務所	森　徹、村上雅則、緋本祥男、和田　徹、田野倉利男、香川正人、江本晃一

札幌アンビシャス2年ぶりV3

札幌アンビシャス土井正三監督と選手のみなさん　©プロ野球マスターズリーグ

7年目を迎えたプロ野球マスターズリーグが、1月27日に札幌アンビシャスの優勝を持って閉幕しました。札幌は最終戦、序盤1対6と大阪ロマンズにリードを許しましたが11対7という大逆転劇で勝利し、単独首位で2年ぶり3度目の優勝を決めました。

1月30日に行われた表彰式では、各タイトルが発表され、MVPはリーグ最多安打でチームを優勝に導いた石井雅博選手が受賞しました。

プロ野球マスターズリーグ委員会　議長大沢啓二は「東京ドームの試合は、観客が3万人を越え、昭和の野球を見せられた。リーグの盛況ぶりを嬉しく思う。稲尾和久さん、井上忠行さんの訃報はつらい。マスターズリーグを見守ってくれるはず。だからこそ我々は100年続けなくてはならない」と、8年目への決意を語りました。

順位	球団	勝数	負数	引分	勝率
1位	札　幌	6	2	0	.750
2位	名古屋	5	3	0	.625
3位	東　京	4	4	0	.500
4位	福　岡	3	5	0	.375
5位	大　阪	2	6	0	.250

◉MVP 石井雅博（札幌）
◉最優秀打撃賞・首位打者　石井雅博（札幌）
◉最多打点・ホームラン王　吉永幸一郎（札幌）
◉最優秀防御率・最多奪三振　津野　浩（札幌）
◉最多奪三振　若田部健一（福岡）
◉最優秀クローザー　阿波野秀幸（東京）

●ベストナイン
投手／津野　浩（札幌）
捕手／福沢洋一（福岡）
一塁／駒田徳広（東京）
二塁／本西厚博（東京）
三塁／村上隆行（大阪）
遊撃手／石毛宏典（札幌）
外野手／石井雅博（札幌）
　　長嶋清幸（名古屋）
　　彦野利勝（名古屋）
DH／大宮龍男（東京）

●特別表彰
オールドルーキー賞／伊東　勤（東京）
杉浦賞／佐藤義則（札幌）
特別賞／安仁屋宗八（福岡）
特別賞／福本　豊（大阪）
特別賞・ミスターマスターズリーグ／村田兆治（東京）

会員情報

新入会員一覧

2007年12月以降入会

氏　名	代表出身球団	ポジション
澤井 良輔	ロッテ	内野手
面出 哲志	阪　神	投手
伊東 勤	西　武	捕手：監督
田中 幸雄	日本ハム	内野手
奈良原 浩	西　武	内野手：コーチ
鈴木 健	ヤクルト	内野手
外園 正	巨　人	投手

氏　名	代表出身球団	ポジション
吉田 修司	ダイエー	投　手
富岡 久貴	西　武	投手
小林 亮寛	ロッテ	投手
熊原 稔	阪　神	トレーナー
小石澤 浄孝	西　武	投手
小牧 雄一	日本ハム	捕手；外野手
吉村 将生	巨　人	内野手
久慈照嘉	阪神	内野手

訃報

慎んでお悔やみ申し上げます

2007年12月以降

氏　名	代表出身球団	逝去日	享　年	生　年
東谷 夏樹	東　映	2006年8月31日	76歳	1930年
滝照清正	大　洋	2007年12月12日		
花井 悠	西　鉄	2007年12月14日	75歳	1932年
井上 忠行	西　鉄	2007年12月15日	72歳	1935年
島野 育夫	阪　神	2007年12月15日	64歳	1943年
藤井 道夫	阪　急	2007年12月23日	85歳	1922年
中村益章	巨　人	2007年12月	57歳	1950年
田澤 芳夫	南　海	2008年1月25日	71歳	1936年

発行・編集人
社団法人全国野球振興会（日本プロ野球OBクラブ）
URL：www.obclub.or.jp　E-mail：info@obclub.or.jp
本部事務局
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-11-1　平河町ロンステートビル2階
TEL：03-3238-2900／3238-2893　FAX：03-3238-2901

［事務局より］　住所変更の際は、お手数ですが上記事務局までお知らせ下さい。

編集協力：株式会社ナノ・アソシエーション 発行日：2008年3月